

(熊谷市) 記者クラブ取材情報

事業の名称等 熊谷市役所本庁舎耐震化について

1. 実施日時等 平成25年10月29日
2. 対象 熊谷市役所本庁舎（以下、本庁舎という。）
3. 主催者・関係者
- (1) 団体名等 熊谷市
4. 事業内容
本庁舎の耐震化を図るため、設計・施工一括の公募型プロポーザルを実施した結果、大成建設(株)関東支店を最優秀提案者として選定し、また、契約候補者に決定しました。
5. 目的・理由
本庁舎に来庁する市民や職員の安心・安全の確保はもとより、行政機能の保全、災害時に最も重要な拠点としての機能を求められる災害対策本部としての、庁舎の安全性が必要となることから、本庁舎の耐震改修工事を実施することとしました。
6. 経緯・経過
耐震改修工法の技術革新や多様化が進んでおり、建設業者のもつ技術と施工方法等についての創意工夫を最大限活用するためプロポーザル方法とし、本庁舎耐震化プロポーザル選定委員会（外部委員を含む計6名）による審査の結果、全審査委員が大成建設(株)関東支店の提案を最も高く評価いたしました。
7. 影響・効果
本庁舎事務棟は、免震工法で、議会棟は耐震工法により実施することとしました。工事においては、庁舎機能を継続し、原則、使用しながらの工事（居ながら工事）で工事期間中の市民サービスへの低下をできるだけ少なくし、提案金額は、16億3千万円（消費税及び地方消費税を除く。）となり、耐震性の確保とコストの低減に努めました。
なお、工期についても予定期日よりも2ヶ月早期に完了することになりました。
8. この事業の実施による特記事項
防災拠点としての機能とともに業務の効率性（ワンストップサービスほか）や環境に配慮した施設を目指します。
- (1) 県内の状況
- ア. 県内で初めて イ. 県内で 番目
- (2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色
・他市と同じ

※ 資料の有無（有・無）

担当課 総務部庶務課 担当者 茂木、荻野

連絡先 TEL TEL048-526-5433

担当課 建設部営繕課 担当者 松本、青木

連絡先 TEL TEL048-524-1502

熊谷市役所本庁舎耐震化プロポーザルの選定結果について

熊谷市役所本庁舎は、昭和48年の建設後、既に40年が経過しており、平成23年度に実施した耐震診断の結果、地下階を除く全フロアにわたり耐震性が不足しており、耐震安全性の確保を最優先に考えて、震災時における来庁者や職員の安全確保、行政機能の保全及び災害時の中心的役割を担うこととなる本庁舎の機能を保持するために本庁舎の耐震改修工事を行うこととしました。

この耐震改修工事の実施に当たり、建設業者の持つ優れた技術と施工方法等を最大限活用するため、公募型プロポーザルによる設計及び施工業者の選定を行いました。

選定に当っては、学識者、専門家を含めた選定委員会を設置して厳正な審査を行い、大成建設(株)関東支店〔免震+耐震工法〕を最優秀提案者として選定しました。また、市はこれを受けてこの業者を契約候補者に決定しました。

1 プロポーザルの経緯

平成25年	2月27日	第1回選定委員会	(実施要領(案)、日程について)
平成25年	4月11日	第2回選定委員会	(実施要領(案)等について)
平成25年	4月25日	第3回選定委員会	(実施要領(案)等について)
平成25年	5月1日	公募開始	(参加申込み)
平成25年	5月29日	公募締切り	
平成25年	6月4日	第4回選定委員会	(参加資格審査等について)
平成25年	9月12日	技術提案書の提出締切り	
平成25年	9月26日	第5回選定委員会	(技術提案内容のヒアリング)
平成25年	10月3日	第6回選定委員会	(最優秀提案者等の選定)

2 プロポーザル選定委員会の委員構成

外部委員を含む6名で構成

3 審査結果

審査は、会社名を伏せた覆面審査としました。

(1) 第一次審査(参加資格)

a 審査方法

会社概要、耐震改修工事の実績、配置予定技術者について、資格審査

b 審査結果

参加申込みのあった3社全てが参加資格を有しており、全社を第二次へ進んで貰うこととしました。

(2) 第二次審査(技術提案)

a 審査方法

技術提案書の内容の審査及びヒアリングを実施し、「耐震工法等」、「工事施工中

・施工後の影響」、「地域貢献等」、「経済性」及び「その他の提案、総合的観点」等の評価項目の審査を行いました。

b 審査結果

第二次の結果は、大成建設(株)関東支店が第1位の評価となりました。

採点結果は、次のとおりです。

会社名	耐震工法		評価点 (合計 500 点満点)
	議会棟	事務棟	
大成建設(株)関東支店	耐震	(基礎)免震	447.2 点
A 社		(基礎)免震	410.4 点
B 社		制震+耐震	283.7 点

4 選定理由

耐震性能は、各社とも要求水準を満足する中で、最優秀並びに優秀提案者の提案では、建物について高い水準を確保した提案となっています。また、各社とも居ながら工事に工夫した計画やワンストップサービスを始めとしたその他の提案についても具体的な提案がなされました。

最優秀提案者の大成建設(株)関東支店の提案は、耐震工法等における耐震安全性の考察が十分に検証され、経済性に最も優れ、工期も最も短く、工事中における来庁者や執務への影響も少なく、ワンストップサービス等を始めとしたその他の提案における具体的かつ有効な内容が提案され、総合的に高い評価となりました。

さらに地元企業への下請け発注や地域経済活性化の提案も具体的かつ発注割合が高く、地域貢献が非常に期待できる内容であり、本庁舎耐震改修計画として総合的に最も優れた提案内容と認められました。

なお、全審査委員が、この会社の提案を最も高く評価しました。

5 その他

(耐震改修後の)耐震性能 I_s 値は、要求水準の 0.75 以上となっています。

事務棟は揺れの影響を最も緩和したものとなっています。

なお、選定委員会では、補足意見として、耐震改修を進める上で市は次に掲げる内容を計画の中で検討されることを提言しました。

- a 全てのトイレと配管等の改修（市民サービスの向上のため）
- b 防災倉庫の最適配置と規模の再考（災害対策本部の機能確保）
- c 緑化の推進（特に来庁者の動線部分）
- d 太陽光発電設備の適切な能力と設置場所の再考（自然エネルギーの活用）

□ 問合せ先 熊谷市総務部庶務課 電話番号 048-524-1111（内線 234）
同 建設部営繕課 同（内線 331）

各社の提案概要

参加者名	大成建設(株)関東支店	A 社	B 社
耐震補強工法等	基礎免震＋耐震工法	基礎免震＋耐震工法	制震(外付けフレーム)＋耐震工法
(工法の概要)	(事務棟) 基礎免震 (最新の技術で揺れを押さえ、設置台数が少ない)	基礎免震 (最優秀提案者の案と耐震性能に差はない)	制震＋耐震(炭素繊維巻きほか)
	(議会棟) 耐震 (RC耐震壁、鉄骨ブレースほか)	耐震 (RC耐震壁など)	耐震 (RC耐震壁、鉄骨ブレースほか)
完成予定日 (設計期間を除く工事日数)	平成28年1月31日 (約 18ヶ月間)	平成28年2月29日 (約 21ヶ月間)	平成28年2月29日 (約 23ヶ月間)
工事施工中の影響	1F窓口の事務棟ロビーへの移動 (細分割(7つ)に工区分けし、順番に) これに伴う移動している期間は≒7ヶ月間	1F窓口の仮設建物への移動 (3ブロックに工区分けし、順番に) これに伴う移動している期間は≒7ヶ月間	部署の移動がない計画(時間外の作業) (一時的な執務スペース等の減少有り) 既存構造の耐震性能を保持した補強
工事施工後の影響	現状機能維持	現状機能維持(装置の維持管理費が高い)	一部、補強部材設置による執務スペースへの影響があるも機能維持
環境対策や 地域貢献	①壁面緑化(議会棟の1階西面) ②太陽光発電設備 ③物品等調達や地元企業への発注 (その割合は設計費を含む工事費の約30%) ④災害時の工事緊急資機材の支援ほか	① 壁面緑化(事務棟の東西・南面の全体ほか) ② ミスト設備(正面玄関廻り、A社保有技術) ③ 太陽光発電設備 ④ 物品等調達や地元企業への発注 (その割合は設計費を除く工事費の約15%)	① 壁面緑化(1階のみ、東西・南面) ② ミスト設備(事務棟テラス廻り) ③ 太陽光発電設備 ④ 地元企業への発注 (目標20%以上) ⑤ 市の名産品の購入及びPRほか
提案金額/(上限額) 単位:億円(税抜き)	16.3 [13.915+2.385] / (23.0)	18.5 [15.55+2.95] / (23.0)	22.0 [19.0+3.0] / (23.0)
その他の提案など (ワンストップサービス や別途工事のものを 含む)	①1階窓口のワンストップサービス (カウンター、サイン、床改修) ②自家発電設備(8階屋上) ③(待合ロビー前の)トイレ改築 ④その他(別途費用) (窓口呼出しシステム、1階トイレ改修、省エネ や防災ほか)	①1階窓口のワンストップサービス (サイン、床改修、レイアウト変更) ②自家発電設備(議会棟屋上) ③(待合ロビー前の)トイレ改築 ④その他(別途費用) (総合案内及び窓口呼出しシステム、昇降機設備 更新、天井改修部分の配管等改修ほか)	①1階窓口のワンストップサービス (1階の窓口エリアの拡張、レイアウト変更) ②自家発電設備 ③(待合ロビー前の)トイレ改築 ④その他(別途費用) 外壁と制震装置の塗装改修
総 合	既存建物の耐震の考察が十分で、ヒアリングの質疑応答でのしっかりした説明から安心感が大きく、また、積極的かつ有効な具体的内容の提案がされ、全委員が1位の評価をした。	既存建物の耐震の考察が十分であるが、ヒアリングでの質疑応答に若干の不安を持った。壁面緑化は、空調負荷の軽減等の効果があるが、維持管理等に課題があり評価が分かれた。	既存建物の耐震の考察が不十分で、制震装置の一部アンバランスな設置等やヒアリングでの質疑応答も説明に不安を持った。工事の影響が他の提案よりも大で、提案金額が最も高いなど評価が低いものとなった。

※、耐震性能の目標は、官庁施設の総合耐震計画基準における(構造体の)耐震安全性のⅡ類以上(Is値≧0.75)です。